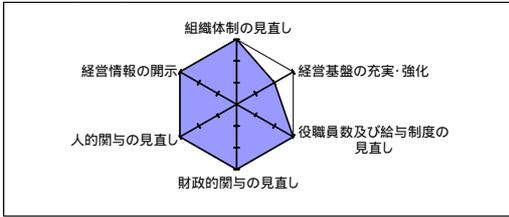


・ 出資法人及び県所管課による評価(1次評価)

取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

(社)愛媛県野菜価格安定基金協会

取組み項目	取組の目標達成の評価
組織体制の見直し	十分達成している
経営基盤の充実・強化	ある程度達成している。
役員数及び給与制度の見直し	十分達成している
財政的関与の見直し	十分達成している
人的関与の見直し	十分達成している
経営情報の開示	十分達成している

1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

(1) 組織体制の見直し

【評価: 十分達成している】

野菜と果実基金協会の統合は、平成20年7月の総会で統合基本方針が承認され、平成21年7月に合併することが決定した。平成20年11月には、両基金協会の吸収合併契約案が総会で承認されており、21年7月統合に向けて準備を進めていく。

【19年度2次評価に対する対応】

統合基本方針が決定し、21年7月統合のスケジュールが決まったため、統合手続きを進める。

(2) 経営基盤の充実・強化

【評価: ある程度達成している】

統合基本方針が決定したことで、統合による経営基盤の強化が実現するほか、経費削減に取り組むなど、統合後の新法人の効率的な運営について引き続き検討していく。

J A負担金の徴収は予定どおり実施した。18年度に引き続き19年度も一般正味財産増減額が赤字となったが、前年比84%と赤字額は減少している。

【19年度2次評価に対する対応】

統合基本方針が決定したことで、統合による経営基盤の強化が実現することになった。今後、新法人の効率的な運営についても検討していく。

(3) 役員数及び給与制度の見直し

【評価: 十分達成している】

職員数を必要最小限に抑えるため、平成19年4月から、欠員については全農愛媛県本部職員の出向で対応している。統合後新法人の役員数は、16名(理事13名、監事3名)に削減することが、基本方針で決定された。

【19年度2次評価に対する対応】

統合後は役員数を削減する。

2 県の関与の適正化に向けた取組

(1) 財政的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

基金事業(価格安定事業)に対する県の助成は、事業制度で規定されている最低水準のものであり、年度ごとの県財政支出依存度は、補てん金交付実績に左右されるものである。

【19年度2次評価に対する対応】

価格安定制度は農家経営の安定と野菜の安定供給を図る事業であり、国、県、協会、関係団体等が連携し、産地の状況を踏まえた適正な制度運用を行っている。

(2) 人的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

統合後新法人の県職員の役員就任は、1名とする。

【19年度2次評価に対する対応】

統合後新法人の県職員の役員数は、1名に削減する。

3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

【評価: 十分達成している】

18年11月から、公益法人情報公開協同サイトで情報公開を行っている。

【19年度2次評価に対する対応】

4 総合的評価

統合基本方針が決定され、21年7月統合に向けて、必要な手続き等の準備を進めている。また、新法人の効率的な運営方法や経費削減について引き続き検討する。